

出前美術館

講師謝礼や派遣旅費は
かかりません！

● 出前美術館とは

出前美術館は、県内に在住する美術の作家や美術館学芸員が学校に出向き、制作の指導や鑑賞授業を行うプログラムです。子どもたちは、作家とともに作品を制作することで「つくりだす」という基本的な美術の楽しさを味わいます。作家からは、作品に込めた思いや表現の工夫、なぜ作家を目指したのかなど、さまざまなお話を聞くことができます。作家とのコミュニケーションは、普段の美術の授業では得られない貴重な経験になります。鑑賞授業では、新津美術館の所蔵品を元に制作したアートカードを使用し「見る・考える・話す・聞く」といった鑑賞のための基本的な力を身につけることができます。

出前美術館のポイント

1. 普段の授業に生かせる実践的な授業。
2. プロの作家とのふれあい、本物の作品との出会い。
3. 2時限で完結。

● 授業までの流れ

- ①申込み...同封の申込用紙にご記入の上、FAX、メール、連絡便等でお申込みください。
- ②決定.....館内で選考を行い、決定通知をお送りします。※申込み多数の場合は抽選となります。
- ③打合せ...担当教員、美術館職員で事前打合せを行います。
教員の方々のご要望、クラスの現状等を確認し、授業目標を設定します。
※内容によって、お電話やメールでの打合せとさせていただきます。
- ④計画.....事前打合わせの内容を踏まえ、美術館職員が授業計画書をお送りします。
- ⑤授業.....講師、美術館職員が貴校・園にうかがい授業を行います。
※講師謝礼は美術館が負担します。
- ⑥報告.....授業の振り返りとして、簡単なアンケートにお答えください。

● 申込み

実施期間：令和5年6月～令和6年2月

※開催日及び講師については相談、調整させていただく場合があります。

※期間外の日程をご希望の場合はご相談ください。

申込期間：令和5年5月17日（水）締切

決定通知：令和5年5月24日（水）頃

申込方法：別紙の申込用紙にご記入のうえ、FAX、メール、連絡便にて新潟市新津美術館までお申込みください。

※講師への謝礼、交通費等は美術館で負担します。

※ワークショップなどの材料、用具などは、学校でご用意いただく場合があります。

● **授業の展開例** ※講師は変更の可能性があります。

プログラム 1. 簡単マンガ教室

新潟市マンガ・アニメ情報館の近藤康宏先生から、キャラクターの顔や全身、手足、ポーズなどデッサンの方法を教わります。普段の図画工作、美術の授業に役立つコツも多く、後半の質疑応答では、「マンガ家になるには？」や「走っているポーズはどう描くの？」など、毎回多くの質問やリクエストが飛び交います。【参考】R4 実施校：小学校4年生、6年生



〈講師プロフィール〉

近藤 康宏

新潟市出身。日本マンガ・アニメ専門学校卒業。
新潟市マンガ・アニメ情報館の職員として、展覧会の運営に携わるとともに、新潟市内の小・中学校で、マンガデッサンの講座を開催している。

●授業例 (120分の場合)

はじめのあいさつ	5分
先生のお話、作品の鑑賞	15分
マンガデッサン（顔の描き方）	35分
休憩	10分
マンガデッサン（身体の描き方）	35分
質疑応答	15分
終わりのあいさつ	5分

●学校で用意していただくもの

鉛筆、消しゴム、A4 コピー用紙など

プログラム 2. 絵本を読んで「オリジナルのライオンを描いてみよう！」

絵本作家のエイキミナコ先生のお話を聞きながら、自分のライオンを自由に描きましょう！主に低学年の子どもたちに好評の授業です。制作の前に読みきかせを行うため、お話を聞いて想像すること、絵をかくことの楽しさを体験できます。【参考】R4 実施校：年長（幼稚園）、小学校1年生



〈講師プロフィール〉

エイキ ミナコ (絵本作家、イラストレーター)

新潟市在住。柔らかい色調で、動物や子供のイラストを描く事が多い。

自身の作品に、絵本『ちいさなライオン〜夢の番人〜』『しんちゃんのランドセル』などがある。

●授業案 (120分の場合)

はじめのあいさつ	5分
絵本『ちいさなライオン』読み聞かせ	15分
講師の説明のもと制作（個人作業）	35分
休憩	10分
制作のつづき	35分
作品鑑賞	10分
質疑応答、終わりのあいさつ	10分

●学校で用意していただくもの

鉛筆、画用紙、絵の具（水彩）、筆、パレットなど

プログラム 3. アートカードを使った鑑賞教育授業

新津美術館の所蔵品を元に制作したアートカードを使用し「見る・考える・話す・聞く」といった鑑賞のための基本的な力を身につけます。美術館の役割や学芸員の仕事の紹介など、キャリア教育を兼ねた授業も行えます。また、学校・園内の美術作品をカードに加えることで、実物の作品との印象の違いについて話し合うなど、発展的な授業を行うことも可能です（事前にご相談ください）。

講師：新潟市新津美術館学芸員

●授業案（ほんの一例です。学年、人数、ご希望に合わせて、その都度ご提案します）

・カルタの読み札作り

アートカードを絵札とし、作品の特徴や印象を「五・七・五」で表した読み札を制作する。

・展覧会作り

グループごとに展覧会のテーマを決め、テーマに見合った5、6枚のカードを使い、疑似展覧会を開催する。作品解説会（発表）を行い、全員で鑑賞する。



●授業例（120分の場合）

はじめのあいさつ	10分
アートカードの紹介と読み札当てゲーム	25分
読み札作り	20分
展覧会作り	40分
展覧会の発表、解説	15分
授業の振り返り、終わりのあいさつ	10分

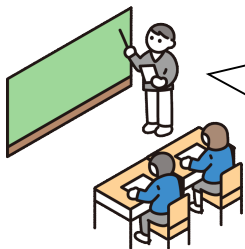
●学校で用意していただくもの 筆記用具、方眼紙など

●実施校の声（令和4年度アンケートより抜粋）



「描くこと」を職業としている方から、生の声でお話を聞けたことが子どもたちに良い刺激となりました。キャリア教育としても充実した内容だと思います。
(小学校6年生・簡単マンガ教室)

子どもたちが取り掛かりやすい導入や言葉があり、子どもたちが「〇〇なライオンにしたい」とイメージを膨らませながら楽しんで描いていました。
(年長（幼稚園）・「オリジナルのライオンを描いてみよう！」)



作品を「自分の感覚で自由に見る」ということが、子どもたちの中で自然に身につけていたんだなと嬉しくなりました。(小学校2年生・アートカード)

【各プログラムのお問い合わせ】

新潟市新津美術館 担当 奥村、石月、斎藤

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1

TEL : 0250-25-1300

FAX : 0250-25-1303

MAIL : museum.ni@city.niigata.lg.jp

HP : <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>